※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 216 |
|---|---|

# 令和５年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 公共 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　公共　（教育図書） | | | | | | |
| 副教材等 | 高等学校　公共　ワークノート　（教育図書） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校社会科公民的分野の学習内容を土台に、教科書などを使用し、公共的な見方・考え方を育成し、働かせる学習を行います。
世の中で起こっている事象を公共の学習を通して理解していきましょう。

## ２　学習の到達目標

（1）現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
（2）現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
（3）よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けられているか。 | 現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けているか。 | よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 公共の扉 | 1人は一人では生きられない<br>2人はどのようにつながるのか<br>3自由と正義の実現を目指して<br>4対話から生まれる公共<br>5日本の公共思想<br>6功利主義と義務論<br>7水俣病を考える<br>8地球温暖化問題<br>9誰が医療を支えるのか<br>10生徒会予算をどう分配するか<br>11意見が分かれたときにどう決めるか<br>12民主政治の歴史<br>13日本国憲法の三つの原理<br>14 基本的人権の尊重<br>15大学入試と男女差別<br>16なぜ女性医師が日本では少ないのか<br>17表現の自由とヘイトスピーチ | a:自分自身が公共的空間の主体となり，自分のキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解する。<br>選択・ 判断の手がかりとして功利主義，義務論などの考え方について理解する。<br>個人の尊重， 民主主義， 法の支配，自由と責任など公共的空間における基本原理について理解しているか。<br>b: 地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現できているか。<br>c: よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深められているか。<br>a:<br>b:<br>c: | 小テスト<br>定期テスト | 小テスト<br>定期テスト | レポート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ２<br>学<br>期 | 現代社会の諸課題 | 1法と社会<br>2「忘れられる権利」は認められるべきか？<br>3多様な契約<br>4消費者の権利と責任<br>5なぜ未成年は自由に契約できないのか？<br>6日本の司法制度<br>7国民の司法参加<br>8なぜ疑わしいときは被告人の利益とすべきか？<br>9選挙と政治参加<br>10公正な世論の形成<br>11日本の若者の投票率はなぜ低いのか？<br>12国会と内閣<br>13地方自治<br>14「国民投票」は本当にベストな方法か？<br>15国家主権と領土<br>16紛争解決のために国際法は有効なのか？<br>17安全保障と防衛<br>1821 世紀の世界情勢<br>19憲法9条と日本の安全保障をどう両立させるか？<br>20国際社会と日本<br>21SDGsと私たちの生活はどう関係しているだろう ？<br>22職業選択<br>23都会で働く か，地方で働くか？<br>24雇用と労働<br>25労働者の権利<br>26メンバーシップ型かジョブ型か<br>27財政の役割<br>28租税の仕組みと国債<br>29財政支出削減のため水道を民営化すべきか？<br>30少子化と社会保障<br>31小学校・中学校に給食は必要か？ | a：法， 政治，経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識，技能を身につけているか。<br>b：法，政治，経済を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したり したことを論拠をもって表現できているか。<br>c：よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めているか。 | 小テスト<br><br>定期<br>テスト | 小テスト<br><br>定期<br>テスト | レポート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ３<br>学<br>期 | | 1市場経済の役割と限界<br>2コンサートチケットの不正転売は防げるか？<br>3金融のはたらき<br>4日本銀行と金融政策<br>5投資家にとって「よい企業」とは<br>6グローバル化と経済統合<br>7格差是正と多文化主義<br>8コメ は国産にこだわるべきか？<br>9つながりっぱなしの私<br>10インターネット は公共圏か？<br>11災害時の情報発信と受信 | a: 法， 政治，経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識，技能を身につけているか。<br>b: 法，政治，経済を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したり したことを論拠をもって表現できているか。<br>c: よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めているか。 | 小テスト<br>定期<br>テスト | 小テスト<br>定期<br>テスト | レポート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度